

児童養護施設や里親家庭（社会的養護等）を巣立った若者たちのサポート事業



一般社団法人

Masterpiece

マスターピース

代表理事：まりっぺ（菊池 まりか）

◆Masterpieceについて

社会的養護等を巣立った若者たち

(虐待などで親を頼りづらい若者たち)

に必要な活動をする

ことを目的とします。

活動2015年～ 法人2017年11月～

◆自己紹介（経験）

■児童養護施設勤務

2010～ 児童養護施設 住込み児童指導員5年 事務1年

■児童相談所勤務

2018～ 非常勤職員4年 2自治体
(虐待対応協力員2年 里親担当2年)

■社会的養護経験者サポート事業

2017～ 一般社団法人Masterpiece 代表理事
2019～ 社会的養護経験者全国交流会 運営委員

■アドボカシー団体

2020～ 一般社団法人こどもの声からはじめよう理事・アドボケイト
2021～ 子どもアドボカシー学会理事

まりっぺ



保育士
社会福祉士
精神保健福祉士

◆Masterpieceについて



住居 サポート

食料 サポート

ユースサロン

家電家具寄贈の仲介

同行サポート

発信活動

その他 相談



◆シェアハウス
女子ハウス あるふあ
男子ハウス ベータ
女子ハウス とろの森
女子・母子 MANAHOUSE

◆シェルター 八王子・市川



◆セカンドハーベスト
ジャパン
◆フードバンクちば
◆アーバンファーマーズ
クラブ

◆NPO法人
プラネットカナール



居場所について



ユースサロン

ユースサロン

月に1~2回開催

自分のことを

安心して話せる場



ユースサロン

年末年始は、
実家感覚で
年末年始ユースサロン
2泊3日オープン



●拠点、利用人数

住まい

拠点	平均利用人数	開始時期
4シェアハウス 2ステップハウス 2シェルター 1学生マンション 東京・千葉・埼玉	月13~18名	2018年9月~
2拠点 千葉県市川市 東京都板橋区	月10~15名	2020年9月~

サード
プレイス

家でも家庭でもない
第3の居場所



●利用対象者について

住まい

		備考
利用対象	社会的養護巣立った若者 ／虐待などで親を頼りづらい若者	行政からの一時保護も時々
年齢	おおむね29歳以下	管理人がいる所も

サード プレイス

		備考
利用対象	社会的養護巣立った若者 ／虐待などで親を頼りづらい若者	
年齢	若者(特に年齢制限はなし)	29歳以下の方交通費あり

ある物： 本、マンガ、ピアノ、Swich、ボードゲーム、キッチン、カラオケ、シェルター部屋など



●大切にしたい視点

- 安心・安全な場 **自分の生き立ちを安心して話せる場**
- 「施設」ではない。支援・被支援の関係性ではない。
- **ケンカしたり、人間関係のいざこざも時にはあるけれど、**
それもあるもの(学び)
- **ピアサポート**(似た経験をもつ若者)と
大人(スタッフやボランティア、ななめ上の人)と**出会う場**
- 大人も楽しむ！
- **問題の早期発見**の場



●自治体などとの連携について

- 都内の自治体から令和5年度より委託事業が開始なので試行段階だが、仕様書などを作る時点から**自治体が事前にヒアリングを丁寧**にしてくれ、仕様書に反映してくれた。意見を取り入れてくれた。
→ A自治体の人以外も利用できるようにしてくれた。

★**柔軟でチャレンジ精神がある自治体**であると連携しやすい

- 議員との協働も大切(居場所に来てもらう、意見交換など)



住まい

【メリット】

- やむを得ずホームレスや夜職になることを防げる。
 - ※ 仕事をするにも住居が安定しなければ探しにくい
 - ※ 所持金なしからの入居も可能
- 住居を失うという危機的状況にある人が多いため、精神的に疲弊しきっているところをサポートできる。
- コミュニティができる。



住まい

【課題】

- 共同生活ならではの課題(音が気になる、掃除など)
- 相性が合わない場合
- 家賃滞納リスク(団体がリスクを負う)

→ 賃貸契約書やルールをその都度整備している



サード プレイス

【メリット】

- 出会いの場・ピアサポートの場となる
(同じ経験をもつ者同士で支え合える)
- 自分の生い立ちを安心して話せる
- 問題が大きくなる前に芽を摘むことができる



サード プレイス

【課題】

- 年齢をどうするか (若者の定義は?)
- 人間関係のもつれ (誰かとぶつかると来にくくなってしまう)
- 「自由な場」にしたいが、**一定のルールが必要**
- 「誰でもウェルカム」はもちろん良いが、
年齢差や話題の違いも出てくる
(色々な話題などの企画ができたら良いがまだできる**人員体制**がない)
- **交通費**の課題
(あるのはもちろん良いが、どこまでかの区切り方が難しい)



サード プレイス

【ルール】

みんなが心地よい場所にするために

1. 他人の悪口には気を付けよう

知っている人の悪口は聞きたくない人もいるかもしれないね！

2. ケンカしたら、謝ろう・ゆるそう

時にはぶつかったり嫌なこともあったりするかもしれない。人間だもの。

3. ここで話された話は、外では話さないようにしましょう

自分のことを誰かに勝手に話されたら不安だね…！

4. SNSに誰かの写真をアップする時は本人に確認しよう

→ 「禁止」というより「推奨」



子ども家庭庁や自治体に期待する事

① 資金補助

寄付などでしか運営することができないため、
利用しやすい助成金が増えると良い。人件費等。

② 精神的サポート強化

精神科を利用したり、カウンセリングを受けれる環境も必要。

③ 住居支援の強化

住居支援をやりたい人のための研修・コンサルの機会の提供。



子ども家庭庁や自治体に期待する事

④ 自治体間をまたぐサポートを

「〇区にお住まいの方のみ」という立付だと利用しにくい。
どこの場所に行きたいかその人が自身が決めれる権利を保障。

⑤ ユースセンターが増えてほしい

公設民営型のユースセンターが増えてほしい
大きな駅がある場所など。無料で利用可能。

パブリックスペース、体育館、ダンス楽器スタジオ等
例)世田谷区、文京区、杉並区などのユースセンター



カナダ トロント視察（2019年）

●コミュニティハブという概念

（地域に根差した支援拠点、地区の誰もがアクセスできるように）

●インタージェネレーション

（公設民営型ですべての世代へというあり方）

●学校の在り方が多様

（コミュニティハブの中に学校が含まれている）

●自己決定とレジリエンス

（自分は自分の人生のエキスパート）



Thank you!

